

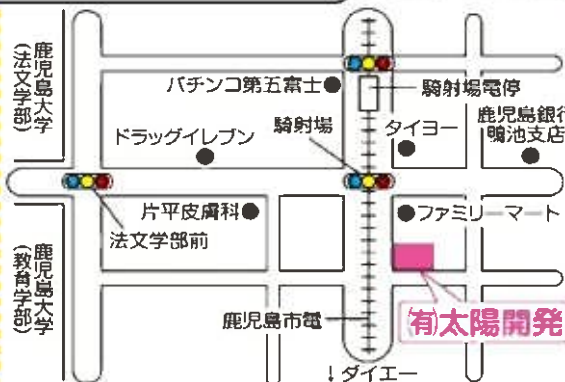
SUNSHINE

第 71号 2013年 5月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市鴨池2丁目1-12 Tel.099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com

太陽開発 検索 クリック!!

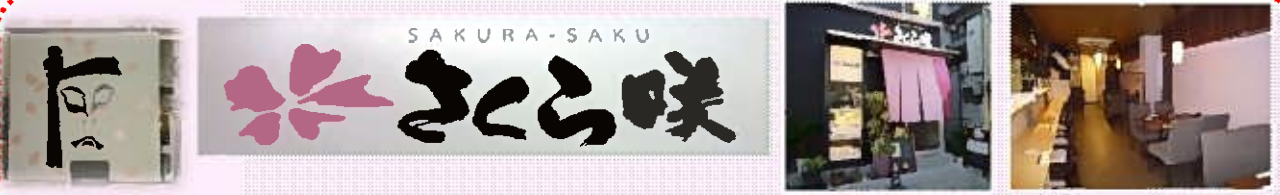


鹿児島市鴨池二丁目1-12
 スカイビル2F

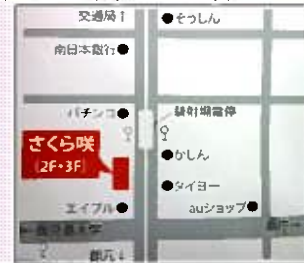


～会社移転のお知らせ～

4月9日、弊社は、荒田より鴨池へ移転をしました。
 きしゃば交差点近くの市電通り沿いです。
 1階が駐車場、2階が店舗になっています。
 きしゃば周辺にお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。
 今回新社屋に移転できましたのも、皆様のお陰と心より感謝
 しております。今後共“太陽開発”を何卒よろしくお願い致します。



今回ご紹介させて頂くお店は騎射場電停の目の前に 4月1日に新装オープンしました“さくら咲”です。
 オーナーの念願の自宅兼店舗を新築!!、2階(35席)、3階はパーティホール(50席)
 こちらのオーナーシェフの石神豊明さんは一流ホテルで料理の腕を磨き、12年前に独立開業しました。
 店名の由来は、歌舞伎の演目『助六由縁江戸桜』から決めたそうです。
 当日は、胡蝶蘭が乱舞してるパーティホールで、当社の新人社員の徳留、福崎、上西園の歓迎会をさせていただ
 きました!(^^)!コース料理はオリジナルの創作料理を中心に素材へのこだわりが感じられる料理の数々!!大豆風
 味の黒豚しゃぶしゃぶはレタスや牛蒡、ズッキーニなど絶品です!(^^)!その後ビールでの乾杯から、自己紹介ス
 ピーチが楽しく盛り上げてくれました(^_^)さくら咲はお弁当も大人気です!
 黒毛和牛炭火炙り弁当などご予算に応じてお造りしますby上釜



ご予約・お問い合わせは
099-254-3191
 鹿児島市荒田2-76-8 さくら咲ビル2F・3F



新事務所のオープンに草月流の米満暁苑先生に
 “お迎え花”を活けていただきました。

花材: 苔梅・椿・こでまり・グロリオサ



ビブリア古書堂の事件手帖 今月の一冊 No.70

鎌倉の片隅でひっそりと営業をしている古書店「ビブリア古書店」。その店主は古本屋
 のイメージに合わない若くきれいな女性だ。残念なのは、初対面の人間とは口もきけない
 人見知り。接客業を営む者として心配になる女性だった。
 だが、古書の知識は並大抵ではない。人に対してとは真逆に、本には人一倍の情熱を
 燃やす彼女のもとには、いわくつきの古書が持ち込まれることも。彼女は古書にまつわ
 る謎と秘密を、まるで見てきたかのように解き明かしていく。これは“古書と秘密”の物語

三上 延 電撃文庫『ターク・バイ
 レツ』にてデビュー。古書にまつわる
 謎を解いていく、ビブリア古書店の事件手帖がベストセーとな
 る。ホラーからファンタジーまで、幅広い
 作風で縦横に活躍中。丁寧に紡が
 れる物語には、根強いファンが多い

～守屋の遺跡探訪～ ⑥ 仙巖園

今回の遺跡探訪は吉野町にあります「仙巖園」です。何故、今回仙巖園にしようと思ったかといいますが、先日私が尊敬する先輩と呑
 みに行った時にその先輩が会社の研修で仙巖園に行って「すごよかった」「また行きたい」と言っていたので私も行ってみたいとな
 からです。
 私は、小さい頃に一度行った事があるのですが…まったく記憶にございません。(・_・)父や母からは「あなたは小さい頃にリフトも使
 わずに階段をずっと登って行ったんだよ」と言われるのですが…。
 仙巖園は1658年に島津家第19代 光久公が鶴丸城の別邸として造った庭園で、1848年に第27代 斉興公によって拡張され、現在の形
 になったのです。建物は1884年に第29代 忠義公によって一部建て替えられ今に至っています。敷地は約5hあり、桜島を築山に、錦江
 湾を池に、垣根をさざ波に見立てて造られたそうで、1958年に国の名勝に指定されました。幕末には第28代当主 斉彬公が敷地の一
 部を使いヨーロッパ式製鉄所やガラス工場を建設し、1857年には国内の石灯籠にガス管をつないで点火させ、灯火として用いたこと
 から日本ガス灯発祥におけるルーツの一つとして挙げられているのです。また、私の大好きな「宮崎あおいちゃん」出演の大河ドラマ
 「篤姫」のロケ地としても使用され、県内外、国外からも多くの来場があるそうです。
 今回は、書面の関係でここまで…続きは、来月号～お楽しみ下さい。



今年の1月・2月とフジテレビで『ビブリア古書堂の事件手帖』が、剛力彩芽・AKIRA主演で放映され
 っていましたね。人気の小説のようですが、私はTVで見るまで知りませんでした。第1回放送をた
 だまた見て、とても面白かったので、早速本を買ってきて、一気に三巻読み終わりました。最新刊
 (第4巻)は、放映中に発売されたので、発売日当日に入手、その日のうちに読み終わりました。つ
 まりそれ位面白いのです。もともとファンの方の中には、主人公・篠川菜子と剛力彩芽のイメージ
 が違い過ぎると批判があったようですが、私はTVが先だったので、抵抗はありませんでした。逆
 にイメージが違い過ぎるので、違う作品としてどちらも楽しめました。TVドラマでの主人公の二人は、
 初々しく好感が持てました。母親役の安田成美とせどり屋役の高橋克己はとてもいい味を出し
 っていましたね。
 本の方は、とても緻密で読み応えがあります。一話毎に一つの古書が登場し、その古書にまつ
 わるエピソードが推理仕立てになっています。とても上手い手法だと感じました。作者・三上延氏
 の本に対する造詣の深さに驚かされます。
 皆さんも是非お読みになってみて下さい。お薦めです!

